

KALS 大学院入試対策講座

専属チューターからのメッセージ

チュートリアル通信

【2021年度】税法科目免除 VOL.2



河合塾 KALS の大学院入試対策講座では、チューター制度を導入しています。チューターは当校の合格者 OB/OG を中心に編成。授業での合格指導のみならず、受講生向け学習ガイダンス「サクセスチュートリアル」や個別カウンセリングなどを通じて、受講生からの進路・志望先に関する事、自主学習に関する事など、合格に向けてきめ細かくアドバイスをしています。以下は、税法科目免除・金田チューターからのメッセージです。今後の受験対策のご参考にしてください！



KALS チュートリアル通信 税法

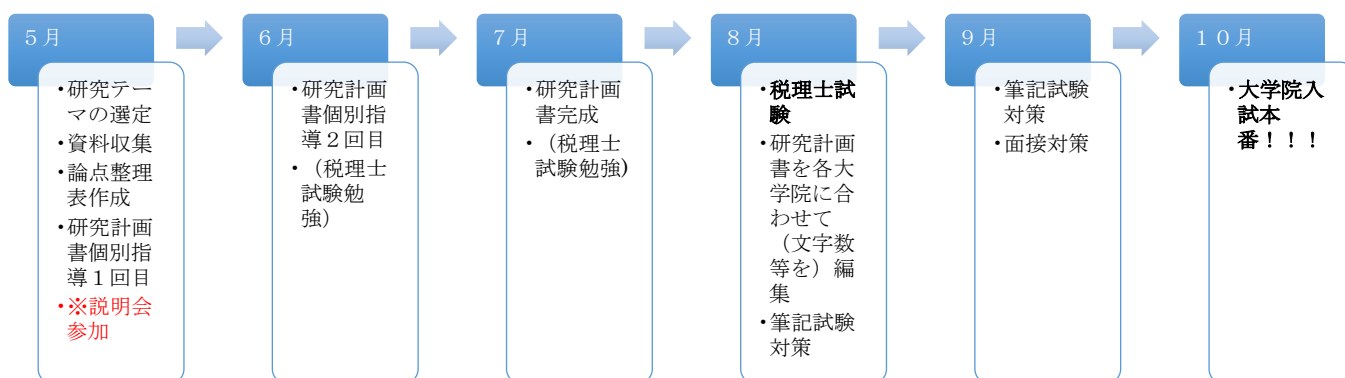
検索

院試のスケジュール

今年の税理士試験の現時点での日程は、8月17日（火）から19日（木）です。申し込み受付は5月18日（火）までなのでお早めにー！

税理士試験を受ける方は、大学院入試の対策も兼ねて準備しなければならないので大変かもしれません。そこで、今回は、大まかなスケジュールと院試までの学習計画をご紹介します！

※仮にここでは9月1日を出願締切日、10月1日が試験日とします。



上記のようなスケジュールが理想だと思われます。

例年は5月頃から各大学院の説明会が始まりますが、今年は昨年同様、新型コロナウイルスの影響でオンライン説明会として行われる大学院が多いと思われます。オンライン説明会に参加するためには予約が必須の可能性もありますので、各大学院のホームページをご覧ください。

また、今年度も各大学院のホームページから情報収集を行うことが重要です。ホームページ上からも、教授の専門分野やカリキュラム（履修科目）などの情報を集めることができます。

「研究計画書」については、なるべく早めにテーマを選択してください。そのあと選択したテーマの資料を収集し、論点整理表を作成してください。論点や学説などの理解が深まったら、研究計画書の作成に入ります。

「小論文試験」がある場合、最低でも試験日1ヶ月前には対策を行ってください。その対策とは、ノートをまとめたりするだけでなく、過去問を、**時間を計って**実際に何度も解いてみることをオススメします。過去問は、各大学院のホームページに載っていることもあります。

「英語試験」がある場合は今から少しずつで良いので毎日対策を行ってください。

「面接対策」は本番前の1～2週間前に対策を始めると良いです。KALS生は個別指導を予約して模擬面接を行ってもらうことをオススメします。



注意：一般入試対象の学外推薦入試志望の方、大学を卒業されていない方で事前調査が必要な方は、出願前に手続きが必要になります。事前調査の日程等は、各大学院のホームページを各自確認してください。

資料（論文）を収集する

研究計画書のための資料を収集するといっても、どのような資料を読めば良いのか、そもそもどこで資料を集めればいいのかなかなか分からないかと思います。

まず、「判例評釈」とよばれる学者が書いた論文を読んで、その判決の重要な論点を読み取ることから始めます。それらは「ジュリスト」や「判例タイムズ」、「税理」などといった雑誌から探します。

今回は、それらの探し方を一部ご紹介します！

(1) 事実の特定

まず、資料を集めるために、テーマに選んだ判決を選ぶ必要があります。「武富士事件」や「ヤフー事件」などの事件の通称では特定できないこともありますので「判決日」を調べます。

(2) 検索エンジンを使う

①CiNii(サイニー) <http://ci.nii.ac.jp/>

事件に関する判批や論文を探すために、代表的な日本語論文検索サイトである CiNii(サイニー)を使ってみましょう。Googleのようにキーワードを自由に使って検索が可能です。

例えば、「武富士事件」と入力して検索すると50件程度の論文・判例評釈が結果として現れます。そして、その中から関心のある論文等を選び、掲載されている雑誌などの名前、巻号、ページなどを知ることができます。また、PDFでダウンロードできる論文が見つかることもあります。

②JTRI(日本税務研究センター)判例情報検索 <https://www.jtri.or.jp/>

「JTRI(日本税務研究センター)」の「判例情報検索」もとても便利です。判決日やキーワード

などを使った検索が可能ですが、検索できるのは判決と判例評釈に限られます。

以上のような方法で、検索結果が、少なくとも 10 件以上あるものを研究テーマとして選ぶようにしてください。あまり出てこない場合は、先々苦勞することが予想されますので、一度ご相談ください。

(3) ※図書館に行く

CiNi や JTRI などが必要な判批や論文を見つけたら、次はそれらを図書館で探し、コピーすることになります。大学図書館と以下の 3 つの図書館の利用をお勧めします。私の場合は、駅から近い「税務研究センター」を利用していました。

また、最寄りに大学図書館がある場合には、在校生や卒業生以外の方も、是非利用を検討してください。外部の利用者を受け入れている大学もあります。また、その大学図書館を通じて、他の図書館などからコピーを取り寄せることも可能です。

「国立国会図書館」の遠隔複写サービスもあります！事前登録が必要ですが、あらゆる文献のコピーの取得が可能で、自宅に郵送してもらうことができます。

現在、各図書館は完全予約制（国立国会図書館は抽選予約）です。予約方法などの詳細については、各図書館のホームページをご確認ください。

- 公益財団法人 租税資料館 **予約が必要**

所在地 「方南町駅」（東京メトロ丸ノ内線）

東京都中野区南台 3-45-13 開館時間 9 時 30 分～17 時（祝日・月曜日休館）

資料コピー可。10 円/枚

- 公益財団法人 日本税務研究センター 租税図書室 **予約が必要**

所在地 「大崎駅」（JR 山手線）

東京都品川区大崎 1-11-8（日本税理士会館 2 階） 開館時間 平日
10 時～16 時 45 分（土日祝日休館）

資料コピー可。20 円/枚

- 国立国会図書館 **抽選予約制（平日 16 時以降に限り予約なしでも入館可能）**

蔵書検索 NDL-OPAC <https://ndlopac.ndl.go.jp/>

国立国会図書館 遠隔複写サービス（要事前登録）



終わりに

新型コロナウイルスの影響で、今年も大学院入試対策が例年よりも難しくなっています。現在できることは、

- ① web 上で閲覧できる論文を探し、読む
- ② 税法の書籍を読む
- ③ 各大学院のホームページで情報収集・過去問収集をすることです。

特に②を今の時期に行うことによって、税法の知識をより深めることができます。税法の基礎知識を蓄えたい方は、入門書を手にとることを強くお勧めします。書籍は Amazon や楽天などのインターネットで購入できるため、外出する必要もありません。オススメは、

- ・金子宏『租税法（第 23 版）』（弘文堂、2019 年） **税法を学ぶ上での必読書です！**
- ・中里実ほか『租税判例百選（第 6 版）』（有斐閣、2016 年） **有名な判例の詳細が載っています！**
- ・三木義一編『よくわかる税法入門（第 14 版）』（有斐閣、2020 年） **入門書としてオススメ！**

です。この三冊（特に金子租税法と租税判例百選）は、大学院生になってからも大活躍します。それ以外にも、『スタンダード所得税法』や『スタンダード法人税法』、税務判例の読み方がわからない方は『「税務判例」を読もう！』もオススメです。ぜひ購入して、熟読してください。

試験日程も今後変更される場合があるため、各大学院のホームページ等を必ず確認してください。

